



あかりをつなぐ。  
心につなぐ。

# 配電工

## リクルートガイド

Electric Crew Recruit Guide

暗い夜は、不安でした。

あかりがあると、安心でした。

配電工が届けているのは、電気だけじゃない。

僕らが届けたいのは、安心です。





# 電気がお客さまに届くまで

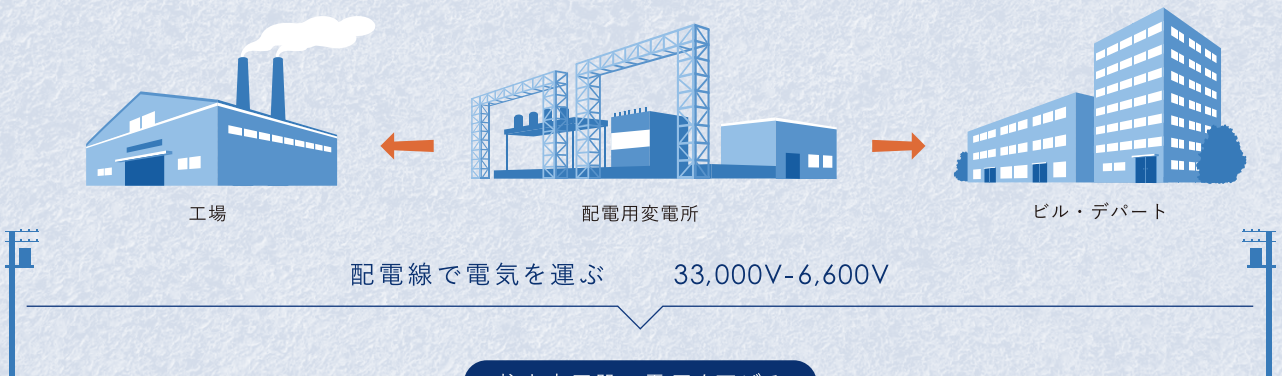
## 発電所で電気を作る



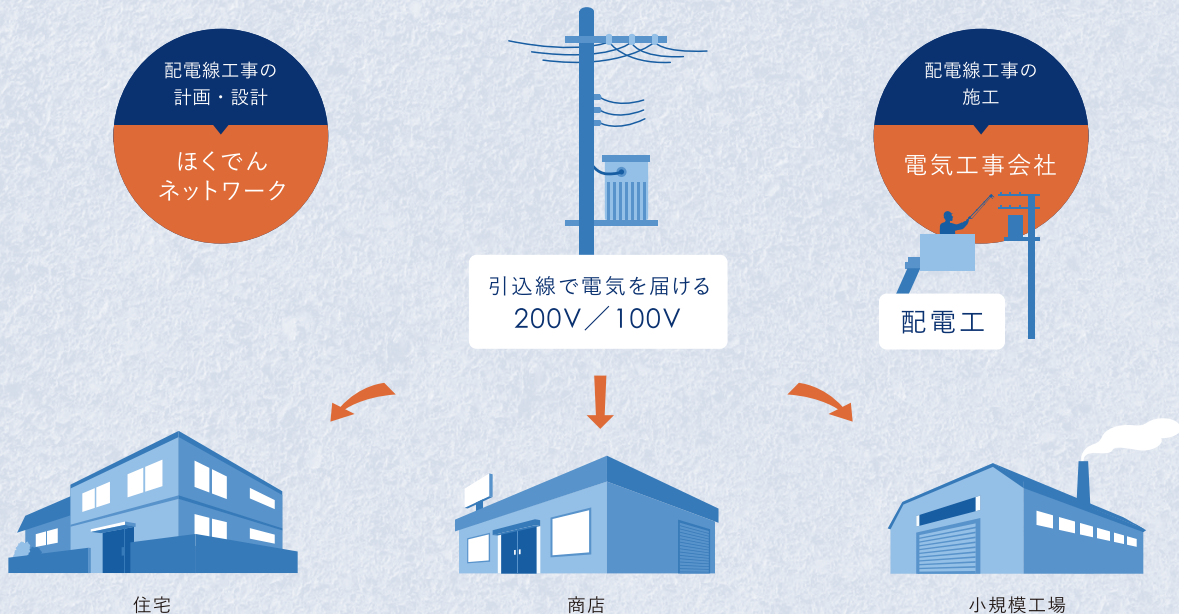
## 一次変電所で電圧を下げる



## 配電用変電所で電圧を下げる



## 柱上変圧器で電圧を下げる





# 配電工の主な仕事内容

## 01

WORKS

### 電柱を建てる

配電線の建設は電柱を建てることから始まります。「建柱車」という車両を用い、「オーガ」と呼ばれるドリルで地面に穴を掘り電柱を建てます。



## 02

WORKS

### 電線を張る

電柱に直接昇ったり、「高所作業車」という車両に乗って電線を張ります。既に張っている電線を新しい電線や太い電線に張り替える工事も行います。

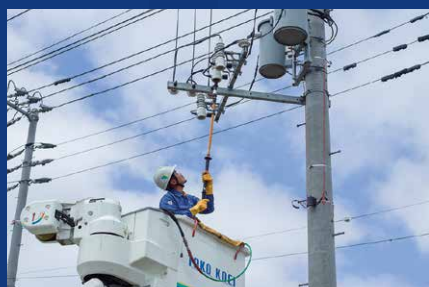


## 03

WORKS

### 機器を取り付ける

電気を送るために必要な変圧器などの機器を電柱に取り付け、電線と接続します。既に取り付けてある機器を取り替える工事も行います。



## 04

WORKS

### 災害復旧

自然災害などによる停電を解消するのも電気工事会社の大切な仕事のひとつです。大変な作業ですが、地域のあかりを守り、皆さまの暮らしを支える責任ある仕事です。





# 配電工が使う車両

配電工事では「建柱車」や「高所作業車」など、様々な車両を使用します。

一定の経験を積み、必要な資格を取得した後に、これらの車両を運転・操作します。

## バケット

箱型のバケットに乗り込み、電柱上部まで移動して作業します。車種にもよりますが、バケットには最大2名まで乗ることができます。

## ウインチ

電柱に取り付ける機器や金物などの重量物をウインチで吊り上げ、電柱上部に引き上げたり、地上に下ろしたりします。

## 操作レバー

バケットの移動をレバーで操作します。操作レバーはバケット内部にあり、油圧で動作する工具やウインチもここで操作します。



## 建柱車

配電工事では、電柱を建てるために(穴掘)建柱車を使用します。ブームの先端に取り付けたドリル「オーガ」で電柱を建てるための穴を掘ります。水道管が近い場合など、機械掘削が難しい場合は、人力による掘削を行います。2mほど掘削したら、今度はブーム先端のウインチで電柱を吊り上げて、電柱を建てます。



## オーガ



## ブーム

旋回・起伏・伸縮してバケットを電柱上部まで移動させます。

## 高所作業車

電柱上部で作業をするために、高所作業車を使用します。ブームの先端に取り付けたバケットに乗り、電柱の上部まで移動します。電柱が道路から離れている場合などには、電柱に直接昇ることもあります。配電工は、高所作業車のバケットに乗って、電柱に様々な機器や金物を取り付けたり、電線を張ったりします。また、バケットに付いているウインチで重い機器や部品を引き上げる、油圧で動作する工具で電線を切断する、接続コネクタを圧縮するなどの作業を行います。





### 胴綱

直接電柱に昇る際に使用する命綱です。

### 安全帯

高所で作業を行う場合に使用する胴綱付きベルトです。胴綱を電柱にまわすようにして安全帯にフックを掛けて使用し、墜落を防止します。また、作業時の体勢を支える役割もあります。

今後、胴部に加え、肩や腿にもベルトを通し、全身を保持することができるフルハーネス型安全帯の導入が予定されています。



▲フルハーネス型安全帯



ヘルメット

### 補助ロープ

高所作業車に乗る際の命綱として使用します。また、電柱に直接昇る際には、胴綱の補助として使用します。

## WORK TOOLS

# 配電工の仕事道具



ペンチ

電工ナイフ



ラチェット  
レンチ



ドライバー

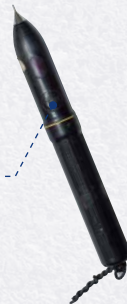


モンキー  
レンチ



### 検電器

電線に電気が流れているかを確認する時に使用します。



### クリッパー

太い電線やワイヤーを切断できる工具です。



### 張線器

電柱間に電線やワイヤーを張る時に使用する工具です。



## ホットスティック

電気が流れている状態でも安全に作業ができるように、全体が絶縁されたホットスティックという工具を使います。電線を支える、切断するなどの目的に応じて様々な種類があります。また、先端の工具(アタッチメント)を付け替えて使用するタイプもあります。



## 配電工を育てる技術研修

必要な知識や技術は現場で先輩の作業を補助しながら学ぶとともに、各工事会社または北海電気工事(株)の配電技術センターで開催する研修などを通じて身につけていきます。技術を学び、現場で一定の経験を積むことで作業員としての資格を習得すると、資格に応じてより高度な作業や役割を担うことができます。高電圧の機器や電線を高所で扱う仕事のため、安全管理に関しては徹底して教育しています。



### COMMENT

#### 先輩の声



東光工業株式会社  
佐賀山 彰哉さん(仕事歴7年)

外で体を動かすことが好きで、将来性や安定性を得られる技術が身につくことに魅力を感じて、この仕事を選びました。配電工は皆さまの生活を支える電気を送る仕事です。新しい住宅街に電柱を建てていると、自分も街の一部を作っているという達成感を感じます。また、台風などの災害の時には徹夜の復旧作業にもなりますが、「自分が停電を解消して街を守っている」と実感できるところがこの仕事のやりがいです。

撮影協力／東光工業株式会社

### 1 DAY SCHEDULE

#### 1日のスケジュール

- 8:30 出社 & 現場移動  
現場に到着後、ミーティング  
全員で作業内容と安全対策を確認
- 9:00 高圧電線新設工事  
新築のマンションに電気を送るため、  
先日建てた電柱に高圧電線を新設
- 12:00 昼休み
- 13:00 変圧器・引込線新設工事  
変圧器を電柱に新設し、  
午前中に工事した高圧電線に接続  
最後にマンションへの引込線を  
新設して送電完了!
- 17:00 後片付け & 翌日の準備
- 18:00 帰宅

※このスケジュールは一例です。

## よくあるご質問

Q 配電工ってどんな仕事ですか？

A 地域の住宅や店舗に電気を送るために、電柱や電線などの設備を建設・改修する仕事です。地域へ安定的に電気を送り届けるためのインフラを守ることで、道民の皆さまの暮らしや社会に貢献できる大切な仕事です。

Q 高いところが苦手ですが、大丈夫ですか？

A 電柱の頂上部は高いもので地上13m(ビル4階くらい)の高さになります。最初は誰でも高所作業を怖いと感じますが、研修での技能訓練や仕事を通じて、徐々に慣れていくので心配ありません。

Q 電気の専門知識や資格を持っていませんが、大丈夫ですか？

A 必要な知識や技術は現場で先輩の作業を補助しながら学ぶとともに、各工事会社または北海電気工事(株)の配電技術センターで開催する研修などを通じて身につけていきます。資格などについても入社後に取得できますので、専門知識や資格がなくても全く問題ありません。

Q 感電や墜落などの危険がある仕事ですか？

A 高圧電線に触れないようにホットスティックなどの工具を使い、高所作業車に乗って作業を行います。また、安全管理には十分に配慮し、安全に作業を行う研修も事前にしっかりと行います。

Q 肉体的にキツイ仕事が多いですか？

A 配電工の仕事はラクではありません。暑いときも寒いときも作業がありますし、力仕事も多いです。しかし、地域の電気を守ることは、道民の皆さまの暮らしを守ることにつながり、達成感、やりがいを感じる仕事です。

Q 将来も自分の役に立つ仕事ですか？

A 全道には多数の電柱や電線があり、定期的な交換や補修を必要としています。電力インフラの維持は、道民の皆さまの暮らしを守るために重要な仕事なので、配電工として学んだ技術は、将来にわたって必要とされます。

## CONTACT

お問い合わせ先

